



阿部 勝徳 議員

1、協働のまちづくり推進における諸課題について

Q 止している地域担当職員の配置を再開すべきでは②公民館、分館が担ってきた社会教育、生涯学習の衰退が危惧されているが推進策は③市民センターの業務量が増大しているが対応は④自治会制度完全移行後の課題は。

A ①震災により休業している地域担当職員の配置を再開すべきでは②公民館、分館が担ってきた社会教育、生涯学習の衰退が危惧されているが推進策は③市民センターの業務量が増大しているが対応は④自治会制度完全移行後の課題は。③人件費の増額や報告書

Q 市民協働推進の諸課題対応は

A 評価と改善をしていく

Q 市長 ①職員教育を行いながら地域担当制度の内容を検証し、部課長職から割り当てて行きたい②当該事業の衰退を招くことのないよう意見交換会や研修会等人材育成の場を企画実施しながら、各市民センターとの情報を共有し最善の方策を検討する



▲多くの市民に利用されている市民センター



▲消防団の新規加入にみなさんのご理解を



小野 幸男 議員

1、防災課の所管について
2、職場から広がるコミュニケーションの向上について

Q 防災課の所管について

A 議員の提言を踏え検討をする

Q ①防災訓練時の連絡とあおい地区の交通安全対策は万全か。②沿岸の津波到達標識と海水浴場の避難誘導も大きく設置すべきでは。③アプリを利用した東松島市防災情報を提供せよ。④職員の消防団加入は。⑤震災後の消防団員の活動について伺う。

Q ①市役所の運動会の導入は。②部課長の職員とのコミュニケーションは。③世界一多忙な教師と教

A ①職場・職員 ①職場・職員の融和効果を高める事業実施に努める。②人材育成責任者と位置付けて取り組む。③多忙解消に努力する。④有用な研修等につきま